

事業番号	15 09 03	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校体育実技認定・指導費				担当課	部局	教育委員会事務局	
						課・室	スポーツ課	
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3 豊かな心と健やかな身体の育成			E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開				実施期間	H13 ~		

1 事業の概要

目指す姿	体育・保健体育の授業や運動部活動の指導において、専門的な技術指導を有する指導者を派遣し、効果的な指導を通して児童生徒の体育や運動部活動における知識・技能・態度の向上を図る。		
現状	<p>○本事業により、専門的な技術指導により、児童生徒の技能の向上や運動部活動の活性化が図られてきている。</p> <p>○運動経験がなかったり、専門ではない競技種目を担当する顧問が6割程度いることから、運動部活動の指導者派遣は高いニーズがあり、今後も本事業を継続していく必要性が高い。</p> <p>○学校体育への実技指導協力者派遣事業は、小学校においては水泳、中学校及び高等学校ではウィンタースポーツ、武道等の派遣要請が多い。これらの種目の安全性を確保するためにも、引き続き継続していく必要がある。</p>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法、教育公務員特例法、スポーツ基本法	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標(H25)						
	<p>○H25は現状より高い合計点及び順位を目標（平成29年度までに体力合計点51.5点台、全国順位10位台目標）</p> <p>○小学校体育実技指導者講習会は、26人の参加を得る</p> <p>○学校体育実技(武道)講習会は、20人の参加を得る</p> <p>○学校体育実技協力者派遣事業は、68校に派遣する</p> <p>○スポーツエキスパート活用事業は79人派遣する</p> <p>○運動部活動地域連携再構築事業は、中学校運動部活動に延べ820回、地域スポーツ人材を派遣する</p>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
		小学校体育実技指導者講習会	直接	中央講習会の内容を伝達(参加者数26人) 郡市伝達研修等で伝達(参加者数740人)	88	27	96
		学校体育実技(武道)講習会	直接	安全で充実した武道学習に向けた武道経験がない教員への実技研修(参加者数40人、うち剣道16人、柔道24人)	468	215	471
	学校体育実技指導協力者派遣事業	直接	体育授業における実技指導協力者の派遣〔水泳〕小学校:58校、〔水泳以外〕中学校:12校、高等学校:8校)	1,768	1,706	1,680	
	スポーツエキスパート活用事業	直接	高等学校における運動部活動の外部指導者派遣(派遣人数79人)	5,483	5,483	5,209	
	運動部活動地域連携再構築事業	委託	中学校の運動部活動における地域人材の活用についての実践的な研究(モデル校:8校)	3,379	1,833	1,550	
			合計	11,186	9,264	9,006	

事業コスト	区分(単位:千円)						成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		当初予算	13,444	11,644	11,186	9,006			目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	13,444	11,644	11,186	9,006						
	Aの財源	国庫支出金	4,938	3,424	3,379	1,131	体育指導者講習会参加者数	29人	26人	26人(740人)	達成	(600人)
		県債					※郡市受講者数(H26)					
		その他()					武道講習会参加者数	63人	20人	40人	達成	40人
		一般財源	8,506	8,220	7,807	7,875	実技協力者派遣校数	84校	68校	78校	達成	68校
	決算額(B)	10,774	9,486	9,264		スポーツエキスパート派遣指導者数	77人	79人	79人	達成	86人	
概算人件費	職員数(人)	3.00	2.00	2.00	2.00	中学運動部の地域スポーツ人材派遣校数	45校	10校	8校(71人)	未達成	(320人)	
	概算人件費(C)	24,774	16,516	16,516	16,516	※部活動実技指導研修会参加者数(H26)						
概算事業費(B(A)+C)	35,548	26,002	25,780	16,516								

目標に対する成果の状況	<p>・小学校体育実技指導者講習会では26名が参加し、ボール運動と器械運動の2種目において、中央研修(子どもの体力向上指導者養成研修会)の内容を伝達した。また、郡市伝達研修会等において、740名の教員に伝達されることで本県教員の指導力向上に寄与した。</p> <p>・武道講習会では40名の参加があった。中学校武道必修化2年目にあつて、特に、若い教員の需要が高い。</p> <p>・実技協力者派遣事業においては、小学校の水泳指導の要請が多い。協力者の子どもへの指導場面を通して、教員も指導法を学ぶ機会となっている。</p> <p>・運動部活動地域連携再構築事業(文部科学省委託事業)では、市町村への再委託が認められなくなり、モデル校を公募して事業を行った。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>・小学校体育実技指導講習会や武道講習会は、教員の指導力向上において欠かすことができない研修機会となっている。平成26年度も引き続き実施するとともに、講習内容等について小・中学校へ情報提供する等、本事業の周知と参加できない教員の指導力向上を図ること、より本事業の目指す姿につなげていく。</p> <p>・運動部活動地域連携再構築事業(文部科学省委託事業)は、平成26年度より運動部活動指導の工夫・改善支援事業へと移行した。今後は、運動部活動指導者研修の機会を拡大し、本県の運動部活動の充実(加入率や競技力の側面から)させていきたい。</p>
--------------------	---